

令和6年度 社会福祉法人池田芽ばえ福祉会事業報告書

I. 法人概要

法人名 社会福祉法人池田芽ばえ福祉会
法人設立年月日 平成10年10月30日
代表者名 理事長 小川 美幸
法人所在地 〒563-0012 大阪府池田市東山町589番地
電話番号・FAX番号 電話:072-750-0560 FAX:072-750-0580
従業員総数 42名(令和7年3月31日現在)

II. 法人理念

- 障がいのある人をひとりの人間として尊厳を重んじるとともに、本人の意向を大切にその人らしい生き方ができるよう支援します
- 住み慣れた地域で充実した暮らしができるように支援します
- 障がいのある人の地域生活の大切さを社会へ伝えるパイプ役になるように努めます

III. 沿革

昭和52年 5月 池田市若草訓練所開設
平成 元年 1月 小規模無認可芽ばえ城南作業所開設
平成 9年 5月 池田市障害者団体連合会結成
池田市協力のもと、社会福祉法人の設立と障害者通所授産施設の整備運営をめざす
平成10年 9月 施設建設着工
平成10年10月 社会福祉法人設立認可を得る
平成11年 6月 施設竣工
平成11年 7月 若草訓練所と芽ばえ城南作業所が統合され「東山作業所」として開所
平成23年 4月 東山作業所が多機能型障害福祉サービス事業所(生活介護・就労継続支援B型)を開始
平成25年 4月 東山作業所が障害福祉サービス事業所(生活介護)に変更し開始
令和 3年 3月 芽ばえホーム(共同生活援助)の障害福祉サービス事業者として指定を受ける(指定年月日 令和3年4月1日)
令和 5年 6月 共同生活援助 住居追加変更「湊」「潮彩」(令和5年6月1日指定変更)
令和 6年 1月 Aina介護保険サービス事業者(訪問介護・介護予防)、障がい福祉サービス事業者(居宅介護・重度訪問介護)として指定を受ける(指定年月日:令和6年1月1日)
令和 6年 2月 Aina障がい福祉サービス事業者(移動支援・日中一時)として指定を受ける(指定年月日 令和6年2月1日)
令和 6年 8月 設立25周年を記念して法人のロゴマークを新設、生活介護の事業所名を「東山作業所」から「Kupulea」に変更

IV. 事業内容

○第二種社会福祉事業

◆障害福祉サービス事業の経営

生活介護事業(Kupulea)
共同生活援助事業(芽ばえホーム)
居宅介護事業(Aina)
重度訪問介護(Aina)

◆移動支援事業の経営

移動支援事業(Aina)

◆老人居宅介護等事業の経営

訪問介護事業(Aina)
介護予防事業(Aina)

◆公益事業

日中一時支援事業(Aina)

〔法人本部〕

■ 事業報告概要 ■

1. 実施状況

(1) 理事会開催状況

開催年月日	出席者数		議 題
	理事	監事	
令和6年6月6日	6	2	① 令和5年度事業報告及び決算報告について ② 法人ロゴマーク及び東山作業所名称(案)について ③ 定款の一部改正について ④ 定時評議員会の招集について
令和6年10月2日	4	0	① Kupu Lea管理者の選任について ② 理事候補者推薦(案)について ③ 第2回評議員会の招集について
令和7年3月27日	6	1	① 職務執行状況報告について ② 庶務規則の一部改正について ③ 経理規則の一部改正について ④ 育児・介護休暇等に関する規則の一部改正について ⑤ 令和7年度事業計画及び予算について

(2) 評議員会開催状況

開催年月日	出席者数		議 題
	評議員	監事	
令和6年6月26日	5	0	① 令和5年度事業報告及び決算報告について ② 法人ロゴマーク及び東山作業所名称について ③ 定款の一部改正について
令和6年10月16日	4	0	① 理事の選任について

(3) 監事監査の実施

開催年月日	出席者数		項 目
	理事	監事	
令和6年5月17日	1	2	① 令和5年度事業報告について ② 令和5年度決算報告について

(4) 施設長等の人事

事業所	役 職 名	氏 名	就 任 期 間
法人本部ほか	事務局長	徳橋都樹	令和4年4月1日～現在に至る
Kupu Lea	管理者	渡辺辰也 小川美幸	令和4年4月1日～令和6年9月30日 令和6年10月1日～現在に至る
Kupu Lea	サービス管理 責任者	太田 徹	令和3年4月1日～令和7年3月31日
芽ばえホーム	管理者	五十嵐千花	令和5年4月1日～現在に至る
芽ばえホーム	サービス管理 責任者	片岡幸代	令和4年4月1日～現在に至る
Aina	管理者兼サービス 提供責任者	石田容子	令和6年7月1日～現在に至る

[K u p u L e a (生活介護)]

■ 事業報告概要 ■

1. 基本方針

法人基本理念である「障がいのある人を一人の人間として尊厳を重んじる」「本人の意向を大切にし、その人らしい生き方ができるように支援する」「地域で充実した暮らしができるように支援する」「地域生活の大切さを社会へ伝えるパイプ役になるように努める」を基本方針としています。

個々のニーズを大切にしながら自己選択、意思決定ができるような機会をもてるようにきめ細かな支援を行いました。

2. 事業内容

日中生活を安心して過ごせるように生産活動や自立課題を提供して、日常生活上の支援及び余暇、創作活動、レクリエーション活動等を行いました。

令和6年度も新型コロナウイルス感染等の集団感染拡大防止に努め、感染症の情報を収集すると共に職員へ周知、研修を行い感染症に対する対策を学びました。また、感染者が出た場合には家族への発信に努めました。

3. 職員状況（令和7年3月31日現在）

事務局長1名（常勤兼務）、事務員1名（非常勤兼務）

管理者1名（常勤）、サービス管理責任者1名（常勤）生活支援員18名（常勤8名、非常勤10名）

嘱託医1名（非常勤）、看護職員1名（非常勤）、理学療法士1名（非常勤）、運転手2名（非常勤）

添乗員1名（非常勤）、調理員等2名（外部委託）

4. 利用状況の実績〔定員50名／在籍47名〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数(日)	21	22	20	23	17	19	23	21	20	20	18	20
延利用者数(人)	954	936	886	866	699	798	963	905	802	827	762	849
1日平均利用者数(人)	45.4	42.5	44.3	37.6	41.1	42.0	41.8	43.0	40.1	41.3	42.3	42.4
月平均利用率(%) (1日平均利用者/定員)	90.8	85.0	88.6	75.3	82.2	84.0	83.7	86.1	80.2	82.7	84.6	84.9

※少数第2切り捨て

平均年齢 49.0歳（令和7年3月31日現在）

5. 実施状況

(1) 個別支援計画について

個別支援計画に基づき支援を行いました。高齢による機能低下に対応した支援が必要となってきました。活動内容や給食での注意事項等、高齢化に対応した取り組みを行いました。

(2) 利用者支援について

サービス管理責任者と担当支援員が本人、家族の要望を聞き取り、日中活動での状況を観察しながらニーズの掘り起こしを行い、支援者会議にて個別支援計画書を作成し、きめ細かな支援をすることを心がけました。出来る限り社会参加や地域交流、色々な体験の選択肢や機会を設け、利用者の自己決定、意思を取り入れるよう努めました。

体調の変化、機能維持など健康に配慮した活動としてウォーキングやストレッチ、個別活動での運動器具の利用により軽運動の機会を設けました。

利用者の高齢化に伴う機能面の低下を常に意識し、日中の活動内容を考え、生活の中での機能低下を防ぐため支援過剰にならないように見極め、自立心を損なうことがないように心がけました。

○日課・週間プログラム

ゆとりの時間（AB班：第4金曜日13：00～14：10）は音楽活動・鑑賞・マットリラックス・制作・レクリエーションなど、ほんわかタイム（C班：毎日14：30～15：15）は園芸、塗り絵、パズル、DVD鑑賞、生活、国語、パソコン、ゲームなどを継続して実施しました。

AB班ゆとりの時間以外の金曜日はキラキラ★タイムとして、各利用者の障害特性に合わせた個別活動を行いました。

2階フロアは午後のプログラムを変更し、各班曜日により生産活動以外にWiiゲーム、レクリエー

ション、点繋ぎ、塗り絵、音楽鑑賞、DVD鑑賞などに取り組みました。

○お楽しみの日（1階）太陽会（2階）・所外活動

お楽しみの日・太陽会は月1回程度実施。内容は、制作、喫茶、買い物、レクリエーション、ドライブなどをしました。所外活動は年に1回実施しました。

○音楽療法活動

食堂にて月1回、第3金曜日に音楽療法士講師による音楽活動をしました。令和6年度よりABC班に加え、DEF班の希望者も参加しました。（DEF班は参加人数調整の為、3か月に1回のペース）

○ヨガ

看護師による座位でのヨガを、第3木曜日の午後から10分各部屋で実施しました。

○利用者活動

月1回の利用者会議では、意見の表明や理解の難しい利用者に対する選択、決定への支援を行いました。

その月の予定や変更事項など連絡する機会とし見通しをもって活動できるように支援しました。

(3) 生産活動について

- ・令和6年度より工賃支給が廃止となり、生産活動・個別活動により日中活動を支援しました。
- ・生産活動支援として、インクカートリッジ仕分け、キャップ仕分け、プロテクター袋詰め、採尿セット、100円ショップ商品の加工や袋詰め、箱折り、親水公園の清掃、さをり織り、EMぼかし作り、値札書き、園芸、納品、ゴミ袋配達などの活動の支援を行いました。また、仕事としての意識を持つことや地域社会とつながる活動の喜びや達成感を味わえるよう支援しました。
- ・仕入品販売として、そうめん等の仕入れ、池田市指定ゴミ袋の仕入れ、レギュラーコーヒーの仕入れを行いました。
- ・施設外活動として、とよのピア販売員担当を概ね月1回の担当をしましたが、支援体制の都合上、実施回数は令和5年度より少なくなりました。感染対策を行った上で個々の適性により役割を分担し、業務習得（挨拶、接客、店内清掃など）の支援を行いました。池田市役所より委託のゴミ袋宅配を利用者と共に配達しました。みどりの郷より依頼の親水公園の清掃を行いました。

(4) 個別活動支援について

生産活動とは別に各利用者の特性に合わせた個別活動を行いました。活動満足度に繋がるように内容を考え、視覚支援や自助具の開発で、障害特性に合わせた活動を支援しました。生産活動縮小に伴い、機能低下や意欲減退を防ぐ為、個々の個別活動を充実しました。

(5) 感染対策について

- ・手洗い、手指消毒の喚起、利用者の体調把握に気を付け、検温（家庭、朝の登所時、日中）や室内換気の徹底を実施しました。
- ・昼食時間を班ごとで時間差をつけ密を避け、飛沫防止の配席を継続しました。
- ・利用者、家族へは感染症蔓延防止に対しての必要な情報や感染者が出た場合の周知を適宜、さくら連絡網等で発信しました。

(6) 健康管理について

- ・情緒面を含む体調の変化に気づき家庭やグループホーム、嘱託医、看護師、理学療法士と連携して体調管理、把握に努めました。個々のウォーキング、軽運動、運動器具利用による機能維持を支援しました。音楽活動やレクリエーションにより気分転換を支援しました。体温、血圧等のバイタルチェックを毎日行いました。
- ・高齢に伴う生活習慣病予防、嚥下低下予防として各班、食事前に嚥下体操を行うとともに個別の食事提供や食事支援（見守り強化・必要に応じて刻み、トロミ、自助具等を利用）を行いました。また、情緒面も含めた体調の変化に留意し、気づき等、家庭やグループホーム、嘱託医、看護師と連携して異常を早期に見つけるよう対応しました。
- ・看護師、理学療法士へ日々の体調、体の痛みなどその都度、相談し、家族へも専門家としての所見を報告し医療へつなげることに努めました。

・食事をしている姿を看護師に観察してもらい、咽詰めや誤嚥に至らないよう、アドバイスを頂きました。

(7) 関係機関との連携について

家庭、グループホーム、相談支援事業所、ヘルパー事業所、行政等と情報共有しました。

特にグループホームを持つ縁21、伏尾台ホーム、三恵園、芽ばえホームと連絡会を持ち、支援の共有を図りました。

必要に応じて医療とも連携しました。グループホームへの入居者が増え、利用者の半数以上が入居しており、ホームも16か所利用となっています。今後、情報の共有が課題となってきています。

(8) 支援員間連携について

支援については班ミーティングで個別報告をしながら担当支援員のみではなく担当外でも共通の認識として支援できるようにしました。

(9) 各会議・班ミーティング・虐待防止（身体拘束適正化）等について

- ・各班ミーティングで虐待について聞き取りをしましたが、令和6年度は特にありませんでした。
- ・身体拘束の対象となる方については、その都度検討を図り、利用者や家族へ説明を行い、同意を頂いた上で対応しました。
- ・苦情については、1件ありましたが迅速に解決に向けて対応しました。
- ・第三者委員より各報告書を閲覧後、助言をいただきました。

(10) 消防計画について

- ・防火管理者を中心に防災計画を策定し、火災・地震など自然災害に対し年2回の避難訓練を行いました。
- ・様々なシーンを想定し啾嗟の判断で利用者対応できるように備えました。

(11) 車両安全運行計画について

- ・送迎サービスを安全、安心に利用して頂くため、職員に安全運転意識を向上させること。また、非常時に迅速な対応がとれるようにマニュアル整備などを行いました。
- ・必要に応じて送迎ルート、停留所の変更をしました。
- ・整備管理者を選任し必要な点検整備の把握に努めました。

(12) 職員研修について

○ミニ研修（第4火曜日職員会議後）8回

研修日	研修名	研修場所	参加者
4月23日	誤嚥・誤嚥性肺炎	事務室	常勤職員
5月28日	摂食・嚥下のプロセス	事務室	常勤職員
7月23日	認知症①	事務室	常勤職員
8月27日	認知症②	事務室	常勤職員
9月24日	認知症③	事務室	常勤職員
10月22日	「ADL」と「IADL」の違い	事務室	常勤職員
2月25日	発達障害	事務室	常勤職員
3月25日	ダウン症の高齢化について	事務室	常勤職員

○所内研修（6回）

研修日	研修名	研修場所	参加者
4月23日	人権啓発研修	食堂	常勤職員
24日	「日々の利用者支援を振り返る」		非常勤職員
26日	～良い支援をしよう（わたしのお守り手帳）～		パート職員
12月17日	「虐待防止・身体拘束について」	食堂	常勤職員
18日			非常勤職員
24日			パート職員
12月17日	「感染症対策について」 感染予防対策と感染症発生時の対応方法 ～感染症発生時の対応方法～	食堂	常勤職員
18日			非常勤職員
24日			パート職員
2月18日	B C P（業務継続計画）：感染症	食堂	常勤職員

25日 3月14日	大阪府のチェックシートを活用して		非常勤職員 パート職員
2月18日 25日 3月14日	感染症研修（机上・実地訓練） ノロウイルスを想定して机上での説明 エプロンの付け方・外し方や処理の仕方	食堂	常勤職員 非常勤職員 パート職員
3月18日 21日 25日 27日	B C P（業務継続計画）：自然災害 大阪府のチェックシートを活用して フローチャート図 池田市のハザードマップを見ながら	食堂	常勤職員 非常勤職員 パート職員

○所外研修（9回）

研修日	研修名	研修場所	参加者
5月31日	「障害者支援を取り巻く諸課題と今後の展望」	ホテルアウイ ーナ大阪	松本幸
6月7日	「セルフメディケーションと食の力でいつまでも 若々しく健康に」～身体のサビ取り、良質な睡 眠、頭健康維持～	池田保健所	中村ただす
6月26日 28日	大阪府相談支援従事者初任者研修	Web	中野地嘉良
8月20日	集団給食 社会福祉施設部会	池田保健所	中村ただす
8月22日	「行動とその変化を考える」	保健福祉総合 センター	門田拓也
9月15日 17日	強度行動障がい支援者養成研修【基礎研修】	Web 平野区民セン ター	門田拓也
10月18日	介護技術の基本 ～食事ケア・排泄ケア・認知症ケアのポイント～	Web	谷端鯉菓
10月27日	社会福祉士 実習指導者講習会	大阪社会福祉 会館	小川美幸
11月30日	（社福）四幸舎和会 公開講座・実践報告会	池田市民活動 交流センター	門田拓也

（13）その他

- ・消防設備点検を年2回外部委託業者が行いました。
- ・ヒヤリハット 14件
- ・事故報告 1件
- ・苦情報告 1件

〔芽ばえホーム（共同生活援助）〕

■ 事業報告概要 ■

1. 基本方針

法人の理念とする障がいがあっても地域で安心して暮らしていく、を基本に親元離れての生活に不安や混乱のないよう支援しながら365日の夜間生活支援を行いました。

2. 施設管理

①居住地

名称 風
 住所 〒563-0022 大阪府池田市旭丘1丁目3-3
 電話・FAX番号 072-761-1567
 定員数 5名（女性）

②居住地

名称 湊
 住所 〒563-0024 大阪府池田市鉢塚3丁目1番15号 1F
 電話・FAX番号 072-761-5775
 定員数 4名（女性）

③居住地

名称 潮彩
 住所 〒563-0024 大阪府池田市鉢塚3丁目1番15号 2F
 電話・FAX番号 072-743-9113
 定員数 4名（男性）

3. 職員状況（令和7年3月31日現在）

事務局長1名（常勤兼務1名）、事務員1名（非常勤兼務1名）、管理者1名（常勤1名）
 サービス管理責任者1名（非常勤1名）、生活支援員兼世話人14名（非常勤14名）、
 看護師1名（非常勤兼務1名）

4. 利用状況の実績〔芽ばえホーム 定員13名〕 ※小数第2位切り捨て

【風】〔定員5名〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍者数(人)	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
開所日数(日)	30	31	30	31	3	13	31	30	31	31	28	31
延利用者数(人)	56	51	42	31	3	13	31	30	31	31	28	31
1日平均利用者数(人)	1.8	1.6	1.4	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
月平均利用率(%) (1日平均利用者/定員)	36.0	32.0	28.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0

【湊】〔定員4名〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍者数(人)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
開所日数(日)	26	25	25	26	25	23	26	25	24	22	23	26
延利用者数(人)	84	85	87	88	81	86	101	95	89	83	89	101
1日平均利用者数(人)	3.2	3.4	3.4	3.3	3.2	3.7	3.8	3.8	3.7	3.7	3.8	3.8
月平均利用率(%) (1日平均利用者/定員)	80.0	85.0	85.0	82.5	80.0	92.5	95.0	95.0	92.5	92.5	95.0	95.0

【潮彩】〔定員 4 名〕

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
在籍者数 (人)	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3
開所日数 (日)	26	25	25	26	27	28	30	29	28	26	26	31
延利用者数 (人)	48	43	44	47	55	73	89	97	73	70	72	84
1日平均利用者数 (人)	1.8	1.7	1.7	1.8	2.0	2.6	2.9	3.3	2.6	2.6	2.7	2.7
月平均利用率 (%) (1日平均利用者/定員)	45.0	42.5	42.5	45.0	50.0	65.0	72.5	82.5	65.0	65.0	67.5	67.5

5. 実施状況

(1) 個別支援計画書について

・本人及び家族へアセスメント実施、原案作成、面談、計画書の同意、交付、面談にて希望する生活などの意向確認、計画の変更、調整を行いました。Kupu Lea 利用者の場合は、Kupu Lea の面談日に合わせて一緒に面談を行うこともありました。来訪が難しいご家庭には、郵送しました。

(2) 生活支援について

- ・個別支援計画書に沿って個別に自立生活支援を実践しました。
- ・生活のスケジュール化、視覚化にて見通しのつく支援を行いました。
- ・衣服の調節、入浴、洗濯、片付け等身近自立の生活習慣化を図りました。
- ・ホーム行事として、利用者の誕生日会やクリスマス会、節分会などを実施しました。
還暦を迎えられた利用者の誕生日会は、本人が希望する飲食店に支援員と一緒に食べに行きました。
- ・外回りの掃き掃除、草抜きなど能力に応じて機会を提供しました。
- ・入居者同士のトラブルはその都度傾聴しました。対応した件は、申し送りノートや業務日誌等で報告、共有を図りました。

(3) 食事の提供について

- ・夕食の主菜は食材宅配サービスを利用しました。
- ・汁物や朝食は温かみのある手作りの食事を提供しました。
- ・栄養バランスやカロリー、摂食嚥下機能を考え、偏食への対応や食形態の調整を行いました。
- ・食材や飲料のこだわり、不適応行動などが強化されるため台所への入室は禁止しました。

(4) 健康管理について

- ・感染症の感染防止対策として、手指消毒の徹底を図り、朝夕 2 回の検温を実施しました。マスクの着用は咳が出ている場合に促しました。普段の食事は非対面で提供し、行事で対面にする際は距離を離して提供しました。
- ・皮膚疾患の感染防止対策として、入浴後に足指や足裏の乾燥、バスマットは個別の物を使用、スリッパや靴下の着用を実施しました。
- ・服薬管理を実施しました。
- ・体調の変化に気付いた場合は家族へ報告し、医療へ繋げました。通院に同行することもありました。
- ・生活介護事業所、居宅介護事業所とも連携しました。
- ・加齢による摂食嚥下機能や日常生活動作の低下などがみられ、機能維持のための自立度を上げていき、過剰支援に気を付けました。
- ・必要な利用者には訪問看護サービスを付けていただき、看護師や作業療法士の助言のもと、身体機能の維持向上に取り組みました。

(5) 支援者会議、研修について

- ・管理者とサービス管理責任者で、都度会議を行い、支援の方向性や内容を決めました。
- ・SNS や連絡網のシステムを駆使して、支援方法の共有を図りました。
- ・生活支援員兼世話人の支援者全体会議を年 1 回、グループホーム毎の支援者会議を年 1 回行い、支援の統一、情報共有を行いました。また、内部研修を行い生活支援員兼世話人の知識向上を図りました。
- ・外部の世話人研修やその他研修に積極的に出席しました。
- ・研修報告書は回覧し、研修に参加していないスタッフも学べるようにしました。

(内部研修内容)

- 「障がいと支援方法について」
- 「応用行動分析について」

「虐待防止・身体拘束適正化について」
「感染症について」
「BCP（地震・感染症）」

(外部研修内容)

研修日	研修名	研修場所	参加者
5月31日	大阪知的障がい者福祉協会研修	ホテルアウイーナ大阪	五十嵐
6月21日 27日	初任者研修	Web	五十嵐
8月9日 19日	管理者兼サービス提供責任者	Web	五十嵐
8月30日	大阪知的障害者福祉協会 第5回 地域支援部会	大阪府社会福祉会館	片岡
9月12日 13日	全国グループホーム等研修会	神戸メリケンパークオリエン タルホテル	五十嵐 片岡
9月26日	池田市地域自立支援協議会	池田市保健福祉総合センター	五十嵐
9月30日	介護技術の基本	Web	五十嵐 片岡
10月31日	社会福祉施設と地区福祉委員会の 連絡会	池田市保健福祉総合センター	五十嵐
11月28日	池田市地域自立支援協議会	池田市保健福祉総合センター	五十嵐
11月29日	(社福)北摂杉の子会 セミナー	Web	五十嵐
11月30日	(社福)四幸舎和会 公開講座	池田市立市民活動交流センタ ー	五十嵐
1月30日	池田市地域自立支援協議会	池田市保健福祉総合センター	五十嵐

(6) 送迎支援について

- ・日中活動事業所への送迎車停車場所への到着、出発時間の調整、準備、付き添いなどを行いました。
- ・通院手段がない利用者には送迎を行いました。

(7) 消防計画について

- ・防火管理者を中心に防災計画を策定し、火災・地震など自然災害に対し年2回の避難訓練を行いました。
- ・様々なシーンを想定し咄嗟の判断で利用者対応ができるように備えました。

(8) 他事業所との連携について

- ・利用者が通われている日中活動事業所と定期的に連絡会を行い、情報共有を図り、日々の支援に繋がりました。

(9) その他

- ・消防設備点検を年2回外部委託業者が行いました。
- ・家族懇談会を年2回実施し、ホームでの過ごし方の伝達や居室の荷物整理を行っていただきました。
- ・自治会加入 風・・・旭丘1丁目自治会、湊・潮彩・・・鉢塚自治会
- ・ヒヤリハット 風 4件、湊 0件、潮彩 3件 計 7件
- ・事故報告 風 0件、湊 0件、潮彩 0件 計 0件
- ・苦情報告 風 0件、湊 1件、潮彩 0件 計 1件

[A i n a (訪問介護・介護予防・居宅介護・移動支援・日中一時)]

■ 事業報告概要 ■

1. 施設管理

事業所の名称 A i n a

所在地 大阪府池田市渋谷 2-1-20 1F

2. 経過報告

令和6年1月1日介護保険サービス事業者（訪問介護・介護予防）、障がい福祉サービス事業者（居宅介護・重度訪問介護）として指定を受けましたが、本格的に稼働したのは令和6年8月1日からとなりました。

K u p u L e a（生活介護）利用者とその家族の利用が多いですが、相談事業所や高齢者の事業所からの情報を頂きながら、利用契約者が増えている状況です。まだまだ黒字になるところまではいかない状態ですが、K u p u L e aからの異動により職員の体制も整いつつあります。

3. 職員状況（令和7年3月31日現在）

事務局長1名（常勤兼務1名）、事務員1名（非常勤兼務1名）、

管理者兼サービス提供責任者1名（非常勤1名）、支援員1名（常勤1名）、登録ヘルパー3名

4. 実施状況

(1) 研修について

研修日	研修名	研修場所	参加者			
7月24日 30日	居宅介護職員初任者研修（講義）	大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター	石田			
8月2日 9日 21日 28日						
10月30日						
9月4日 10日				居宅介護職員初任者研修（実技演習）	福祉関係の専門学校	石田